2026/2027 シーズン
SAJ 公認アルペンユース競技会開催要領

1　概要

1. 大会名称を「ユース競技会」とする。
2. SAJ 公認アルペンユース競技会には、中学校 1 年生から高校 1 年生早生まれの競技者（2011～2014 年 4 月 1 日生まれ）が出場でき、K 2 カテゴリーに位置付けられる。
3. 競技ルールは、FIS 国際アルペン競技ルールと本要領に基づいて行われる。
4. 競技ルールと競技用具ルールは、K2 カテゴリーは U16 を適用する。
   ただし、本要領に定めることを優先する。
5. 競技会公認料は SAJ 規約規程集、各種公認・登録等料金一覧表の通りとする。
6. JOC ジュニアオリンピックのみ K1（2014 年 4 月 2 日～2016 年 4 月 1 日生まれ）を開催する。

2　出場資格について

1. SAJ 競技者登録が完了され、大会要項に記載されている出場資格を満たしている競技者とする。
2. JOC ジュニアオリンピック K 1 カテゴリー出場者は申込時に SAJ 会員登録を完了していること。

3　種目について

1. スーパー大回転（SG)、大回転(GS)、回転(SL)とする。
2. SG の方向転換数を 8～12%とする。
3. GS について
   1) 2 本レースとする。
   2）方向転換数を 13～18%とする。
   （ﾀｰﾆﾝｸﾞﾎﾟｰﾙ間 MAX 27m、ﾃﾞｨﾚｲﾄﾞｹﾞｰﾄｺﾝﾋﾞﾈｰｼｮﾝの場合はﾃﾞｨﾚｲﾄﾞｹﾞｰﾄから次のﾀｰﾆﾝｸﾞﾎﾟｰﾙ間 MAX27m）

4 .SL について
   1）方向転換数を 32～38%+/-3 とする。
   （ﾀｰﾆﾝｸﾞﾎﾟｰﾙ間 7m～11m、ﾃﾞｨﾚｲﾄﾞｹﾞｰﾄｺﾝﾋﾞﾈｰｼｮﾝのﾀｰﾆﾝｸﾞﾎﾟｰﾙ間 13m～15m）
   2）最少 3 箇所、最大 6 箇所のヘアピンと、最少 1 箇所、最大 3 箇所のヴァーティカルコンビネーション（最少 3～最大 4 つのゲートからなる）を設置しなければならない。最少 1 箇所、最大 3 箇所のディレードゲートコンビネーションを設置しなければならない。

4　使用コースについて

1. SAJ 公認コースとする。
2.各種目の標高差は下記の通りとする。
   1) SG：250m-450m
   2) GS：160m-350m（推奨 200ｍ-350ｍ）
   3) SL：100m-160m
3. SG は GS 公認コースでも開催できる（ただし、ルールや安全性を満たしていること)。
4. GS は SL 公認コースでも開催できる（ただし、ルールや安全性を満たしていること)。

5　エントリーについて

1.エントリーは各都府県単位とする。このことは、大会開催要項に明記されなければならない。

6　スタート順について

1. 各ブロックのユース競技会については、次の通りとする。
   K2：SAJ ポイントを採用し、上位 15 名タイまでをドロー、以降はポイント順とし、ノーポントはドローとする。
   ＊但し全国中学は含まない。

7　スタート数の制限について

1.　中学校３年生・高校１年生早生まれは制限なしとする。
2.　技術系（GS/SL）合計、中学校１・２年生は１２レース以内とする。
所属する選手のスタート数が順守されているかの確認は各加盟団体で行う。
3.　スピード系（SG）は、制限なしとする。
4.「SAJ ポイントレースにおいて公式成績表が発行され、1 本目の DNS 以外で名前が掲載されている場合」スタートしたものとする。DNQ、DNF、2 本目の DNS もスタートとみなされる。レース/ペナルティーポイントが選手に付与される形でレースが成立しない場合は、スタートを切っても、スタート数にカウントされない。レースが天候等により、途中キャンセルされた場合は、スタート数にカウントされない。
5. 項目 7-2.に違反した場合は、当該選手の違反したレースでの取得ポイントを無効とする。但し、違反を知りながら参加する等の悪質な違反者に対しては次年度 1 月 31 日まで SAJ 公認大会のエントリーを禁止するとともに、同期間、FIS ライセンスを発行しない。
6. 全国中学、全日本ジュニアスキー選手権（K2）SG ならびに全国選抜ユーススキー選手権大会 SG（以下全日本ユース SG と表記)、ジャパンカップ、JOC ジュニアオリンピックカップ、予選会（全国中学、国スポ）のスタートはこの制限に含めない。
7. 各ブロック予選について
選手が所属するブロックの予選のスタートはこの制限に含めない。他ブロックの予選に参加する場合はスタート数の制限に含める

8　K2 SAJ ポイントについて

1,　競技者には、SAJ ポイントをつける。FIS ルールに基づいてペナルティーポイントを計算し、計算ペナルティを採用する。一方、規定のミニマムペナルティー値（下表）を下回った場合は、ミニマムペナルティー値をペナルティーポイントとして採用する。

SAJ カテゴリー	Race Level	加算値	ミニマム ペナルティ	マキシマム ペナルティ
SAJ-A(K2)	2	0	30.00	999.00
SAJ-B(K2)	4	0	45.00	999.00

種目	F 値	マックスポイント
SG	1190	270.00
GS	1010	220.00
SL	730	185.00

2. 16 歳以上の B 級大会（B 級公認各都道府県選手権大会も含む）と併催する場合、K2 はユースルールに従ってレースを実施する。K2 と 16 歳以上のブロックを分けてスタートさせることにより、SAJ ポイントが認められる。
3. 全国中学、ジュニアオリンピック・全日本ユース SG の各組各種目のマキシマムペナルティを有効リストの高校生ランキング男子６０位、女子４０位とする。

9　競技用品について

1. 選手が使用する用具は、ハンドブック参照のこと。
2. ヘルメットに関して SAJ 公認大会においては、FIS ルールに従い義務付けとする。

10　JOC ジュニアオリンピックカップについて

別紙の通りさだめる。

11　全日本ジュニアスキー選手権大会・全国選抜ユーススキー選手権大会（種目：SG）出場資格

1. 各種目別ランキング（SL/GS/SG）2011～2014 年生れの男女 100 位までの者
   SAJ26/27 有効リスト No.4～No.20
2. 2027 全国中学校スキー大会男子 60 位、女子 60 位（GS/SL）までの者
3. 2027 全国高校スキー大会男子 50 位、女子 50 位（GS/SL）までの高 1 早生れの者
4. 都道府県スキー連盟会長推薦枠 有資格者の有無に関わらず男女各 5 名推薦することができる。
5. 特別出場枠
   ○ 強化指定 D 選手
   ○ 開催地には男子 30 名、女子 20 名の特別推薦枠を認める。
6. エントリーオーバーした場合にカットされる参加資格
   ① 開催地特別推薦枠 ※ただし男女各 3 名はプロテクトされる
   ② 都道府県会長推薦枠の SG 種目のポイント下位の選手から
   ③ 全国中学・全国高校で権利を得た者の SG 種目のポイント下位の選手から
   ④ 各種目別ランキングで資格を得た者の SG 種目のポイント下位の選手から
   ※上記の①から順番にカットする（①から④のローテーションではない）
   ※ポイントは有効リストの最新版を採用する

12　大会主催者の責務について

1. この要領に定めること以外は、FIS ルールに則り、安全に運営しなければならない。
2. 選手の安全を確保するために、全種目で軽量ポール（25-28.9mm）を使用しなければならない。
3. 大会要項競技規則項目に ICR 等とともに、「SAJ 公認アルペンユース競技会開催要領に基づく」を記載すること。またスタート数の制限に関する記述を入れること。
   ※スタート数の制限に関する記述の例
   「技術系（GS/SL）合計、中学校 1・2 年生は 1 2 レース以内とする。中学校 3 年生・高校 1 年生
   早生まれは制限なしとする。」と定められているので、各学年においてスタート数がオーバーすることのないようにすること

13　出場資格についての特記事項

1. SAJ 公認アルペン B 級競技会には、K1 および K2 の中学校 1・2 年生の競技者は出場できない。
2. 中学校 3 年生以上の競技者（2011 年～2012 年早生まれは、SAJ 公認アルペン B 級競技会ならびに国体少年の部に出場する事ができる。その場合、16 歳以上の競技用品ルールに従わなければならない。
3. 高校 1 年生早生まれ（2011 年早生まれ）の競技者は、全日本ユース SG と JOC ジュニアオリンピックカップに出場する事ができる。